

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	大平 英樹	所属	名古屋大学大学院情報学研究科 心理・認知科学専攻
研究会等名称	公益社団法人日本心理学会精神神経内分泌免疫学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>会員 50名（うち認定心理士 1名） 非会員 60名（うち認定心理士 名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p>【共同研究企画】</p> <p>①目的 本企画は、研究会を共同研究提案の場として活用することを目的とした新しい取り組みである。検体収集や生化学的測定の分担，データセットの共有をすることで研究会活動および国内における精神神経内分泌免疫学研究の活性化を図る。</p> <p>②成果 これまで 2 件の共同研究が企画され，その成果は HP に掲載済みである。引き続き共同研究の募集を HP にて行ない，研究会会員や隣接領域の研究者に向けた情報発信に努める。</p> <p>③将来構想 今後も引き続き研究集会やホームページ等で共同研究者を募り，ワーキンググループでの活動を行っていく。</p> <p>【研究集会】</p> <p>①目的 精神神経内分泌免疫学に関する最新の知見の共有，研究者間の交流を目的とし，共同研究の促進を図る。また，若手研究者に研究発表の機会を与えることで研究者の育成に努める。</p> <p>②成果(添付資料参照) <u>第 29 回研究集会</u> 令和 5 年 7 月 9 日に第 29 回研究集会をオンラインと対面のハイブリッド形式で開催した(東京工業大学 大岡山キャンパス)。小講演として，高橋将記(東京工業大学)から，「ヒトの時間栄養学・時間運動学のエビデンスの現状-代謝・内分泌系に着目して-」と題し，肥満予防に効果的な食事タイミングについて様々なエビデンスをご紹介いただいた。さらに，研究発表として，田中瑤子先生(東京工業大学)，中谷唯音先生(文教大学)，森石千尋先生(東北大学)に，内受容感覚とストレス知覚の関係，うつと炎症性サイトカインについて，などご発表いただいた。対面・オンライン合わせて約 60 名にご参加いただき，活発な議論が行われた。</p> <p>③将来計画 令和 6 年 7 月には東北大学川内南キャンパスにて第 30 回研究集会を開催することが決定している。さらに，現在日本心理学会第 88 回大会でのシンポジウム企画を検討中である。研究集会やメーリングリストを通じてさらなる情報，研究手法・技術の共有化，研究者間の連携を強めることを目指す。</p>		

(様式5)

2024年 3月 28日

日本心理学会研究会 2023年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会精神神経内分泌免疫学研究会

研究会番号 研23011

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
		¥0
2023年7月8日	小講演 謝金 (東京工業大学 高橋将記先生)	¥10,000
2024年4月5日	返金 (日本心理学会)	¥20,000
	支出合計	¥30,000